



■ 防災無線 I-P無線への 切り替え事業

本町が非常時における防災無線として活用しているMCA無線は、通信システムのメンテナンスが困難になったことから、令和11年5月末をもって使用停止されることになりました。このため、令和7年度は携帯電話回線を使って通信を行うI-P無線への切り替え事業に取り組んでまいります。切り替え後は現在に比べて、より音が明瞭で広範囲に聞こえるそうです。事業の財源には緊急防災・減災事業債を活用する計画です。

■ 職員の個人情報の保護及び カスタマーハラスメント対策

職員が安心して働くことができる環境を維持するため、職員の個人情報の保護及びカスタマーハラスメント対策として、職員配置図の各戸配付は行わず、希望される方には役場等の窓口で提供することにいたします。

また、職員の名札については記載内容を変更し所属課等と名字のみといたします。

■ ふるさと応援寄附金

ふるさと応援寄附金については、令和6年度当初の目標額1億円を早期に達成したことから、目標額を2億3,000万円に上方修正したところです。2月末現在の受入額の速報値は2億2,689万円超となっています。このことは、ふるさと納税事業についてのノウハウを生かし、返礼商品数や提供事業者数の拡大、効果的な情報発信等に努力してきた成果だと考えられます。今後とも、全国的なトレンドにも注視しつつ、町の自主財源確保と地域経済の活性化に努めてまいります。

■ 空き家対策

空き家対策については、本年度空き家等対策協議会を設置し、計画に対する様々なご意見をいただき「桂川町空き家等対策計画」を策定しました。具体的には空き家の管理者に対し、適正な管理を行う旨の指導及び利活用のための情報提供及び老朽化が著しい空き家の解体に対する補助制度の活用について取り組みたいと考えています。

■ 『桂川町誌』の編さん

『桂川町誌』の編さんについては、本年度は、いわゆる「章立て」として8つの編から成る目次構成案について協議するとともに、「組見本」と呼ばれる誌面の文字数や写真・図表・注釈等のレイアウト案を作成しました。これに基づきリストアップした資料の収集や所管課別のヒアリングを行ったところです。また、王塚古墳やその関連遺跡に係る記述については、有識者の方に町誌編さん協力員としてご助言・ご提言を頂きながら、原稿執筆に取り掛かっているところです。

令和7年度は、各所管課別ヒアリングの結果を踏まえ、収集した資料の分析や全体の原稿執筆を中心に進めてまいります。

■ 県道豆田稲築線（九郎丸工区）

事業着手から6年目を迎え福岡県飯塚県土整備事務所において、道路拡幅に伴う地権者との用地買収協議が進められているところです。町としましても地元協議等の支援を行い、積極的に事業の推進を図ってまいります。